

リンドウ「天の川」の上位出荷規格別割合を 増やす施肥方法

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

1 部門名

花きーリンドウー施肥法

2 担当者名

鈴木 保奈美

3 要旨

リンドウ「天の川」は9月下旬(郡山市)に開花するが、この時期に開花する他品種と比べ、草丈が伸びにくい傾向が見られる。そこで、春肥の施用時期や施用量を検討した結果、萌芽期に多肥(N成分で標準施肥0.6kg/a+即効性肥料0.4kg/a)とすることで切り花長が長くなり、上位の出荷規格別割合が増加した。

- 令和6年11月に水田転換畑より堀上げした定植3年目株を同年12月に10号プラスチック鉢に鉢替えし、その後、春肥を施用し(表1)、萌芽期以降は側窓を開放するなどして収穫期までガラス温室にて管理した。
- 萌芽期多肥では、切り花長が長くなり、上位の出荷規格別割合が増加した。また、春肥の施用時期や施用量による収穫期への影響はほとんどなかった(表1)。
- 春肥の施用直後は、肥料の吸収を促すよう十分にかん水を行った。露地栽培においても、春肥直後に降雨が少ない場合は同様の対応をとる必要がある。

表1 切り花形質、出荷規格別割合、収穫期調査

	春肥量	調査茎数 (本)	切り花形質		出荷規格 ¹⁾ 別割合(%)					収穫盛期 (50%)
			切り花長 (cm)	花段数 (段)	80cm	70cm	60cm	50cm	外	
萌芽期標準施肥	N成分0.6kg/a ²⁾	174	64.2 a	3.0 b	0.0	9.8	55.2	30.5	4.6	10月1日
萌芽期多肥	N成分0.6kg/a ²⁾ + 0.4kg/a ³⁾	187	69.8 a	3.6 a	2.7	38.0	43.9	13.9	1.6	9月29日
側芽発生期標準施肥	N成分0.6kg/a ²⁾	168	59.3 b	2.8 b	0.0	1.2	35.1	49.4	14.3	10月1日

1) 出荷規格：80cm(花段数5段以上)、70cm(4段以上)、60cm(3段以上)、50cm(2段以上)に区分した。なお、収穫は切り花可能な茎を地際から全て採花し、茎径2.0mm以下となるものは除外して調査した。

2) 標準施肥は「CDUタマゴ化成肥料S555」を施用した。

3) 即効性肥料は「くみあい尿素入り窒素加里化成2号」を施用した。

注1) 令和7年度の萌芽期は3/21、側芽発生期は5/19に確認され、その日に春肥を施用した。露地栽培では、雪解け及び萌芽を確認してから施用すること。

注2) Tukeyの多重比較検定により異なる文字間には5%水準で有意差あり。

4 成果を得た課題名

- 研究期間 令和4～7年度
- 研究課題名 作物、野菜、花きの有望系統・新品種の栽培技術の確立

5 主な参考文献・資料 なし